

クイック日常点検

会社名：株式会社〇〇電機

店舗名：

住 所：〇〇市××町1-2-3

点検実施日 2017.2.7

お客様名 デンソー太郎 様

車 名 プリウス

登録番号 車検証無 99 Z 9999

走行距離 12,345 km

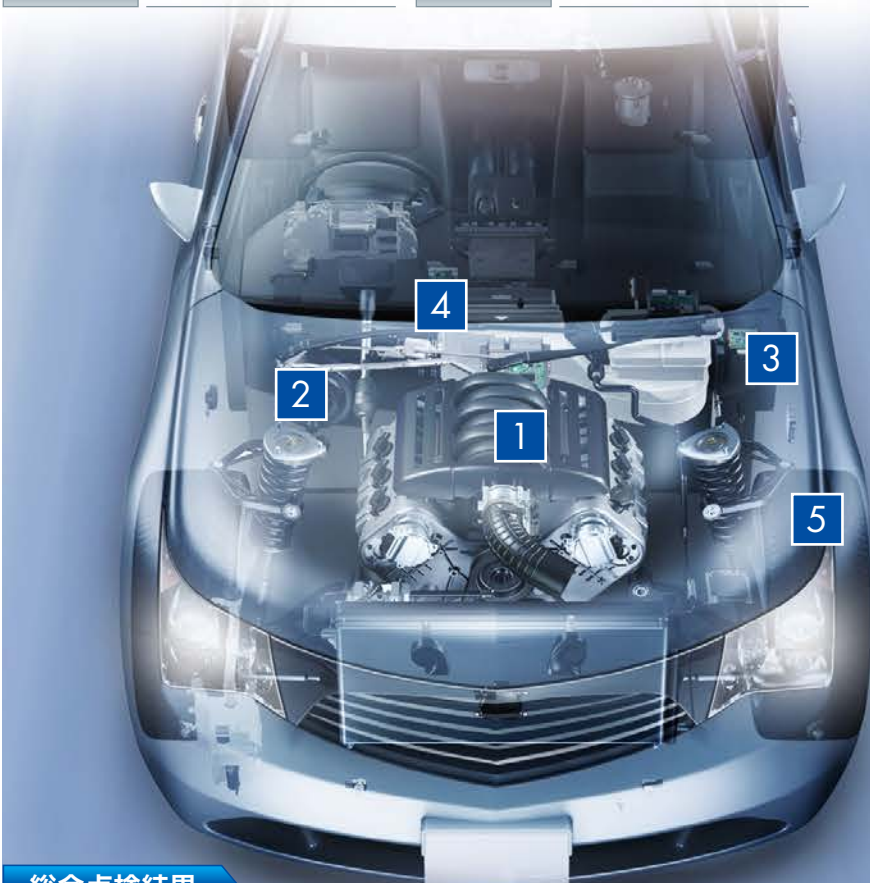
TEL：0123-45-6789

担当スタッフ：テスト次郎

受付番号： 0006031046

FAX：0123-45-7890

e-mail :0123@456.78



1 エンジン



2 ブレーキ



3 バッテリー



4 ワイパーおよび ウインドウォッシャー



5 タイヤ



その他



点検項目（各結果は次頁参照）

- ・エアコンフィルターの汚れ
- ・ルームランプの球切れ
- ・発炎筒の有効期限
- ・トランスミッションオイルの量
- ・トランスミッションオイルの汚れ
- ・エアクリーナーの汚れ
- ・ワイヤレスキーの電池

総合点検結果



ワイパーゴム（リア）の交換をおすすめします。
タイヤ空気圧の整備をおすすめします。



【注意事項】

本点検結果は、自動車及びその部品に関する性能を保証するものではありません。
本点検結果により生じた損害等は、いかなる責任も負いません。



点検結果からお車の異常は
見受けられませんでした。

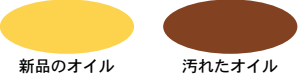
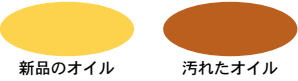


交換や整備することをおすすめします。



点検未実施

クイック日常点検 詳細

分類	点検内容	結果	説明
エンジン	エンジンオイルの量		エンジンオイルは、エンジン内の潤滑、冷却、洗浄、防錆などの役割があるため、オイルの量が適切でないとエンジンの故障につながるおそれがあります。
	エンジンオイルの汚れ		エンジンオイルには上記の役割があるため、汚れるとエンジンの調子や燃費が悪くなるおそれがあります。オイルやオイルフィルターは定期的に交換しましょう。  新品のオイル 汚れたオイル
	冷却水の量		冷却水はエンジンの熱を吸収・放出したり、冷却システムの凍結や錆を防ぐ役割があるため、冷却水の量が適切でないとエンジンのオーバーヒートにつながるおそれがあります。
ブレーキ	ブレーキオイルの量		ブレーキオイル（フルード）の量が適切でないと、ブレーキの効が悪くなるおそれがあります。液漏れの可能性もありますのでブレーキシステムの点検が必要です。
	ブレーキオイルの汚れ		ブレーキオイル（フルード）は吸水性が高く、交換を怠ると泡や錆の発生によりブレーキの効が悪くなるおそれがあるため、定期的に交換しましょう。  新品のオイル 汚れたオイル
バッテリー	バッテリー液の量		バッテリー液の量が適切でないと、バッテリーの寿命を短くしたり、走行中の充電で破裂や爆発のおそれがあり危険です。（密封式のバッテリーは点検不要）
	バッテリー状態（テスター点検）		バッテリーテスターでバッテリー状態を測定します。バッテリー状態が悪いと、突然エンジンが掛からなくなるおそれがあるため2～3年に1回の交換が目安です。
ワイパーおよびウインドウォッシャー	ワイパーゴム（フロント）の劣化		ワイパーゴムは、ワイパーを使用しなくても直射日光などの影響で劣化します。良好な視界を確保するために、定期的に交換しましょう。
	ワイパーゴム（リア）の劣化		 ひび 切れ 曲がり
	ウォッシャー液の量		ウォッシャー液は、ガラスが汚れた際に良好な視界を確保するために使用します。走行中にウォッシャー液がなくなると、ガラスの汚れを落とせなくなる可能性があります。

分類	点検内容	結果	説明
タイヤ	空気圧	左前  (150 kPa) 右前  (200 kPa)	タイヤの空気圧が低いと、燃費が悪化します。逆に空気圧が高すぎても、乗り心地などの悪化につながります。また、不適切な空気圧で走行を続けると異常摩耗の原因にもなりますので、空気圧は定期的に点検しましょう。
		左後  (200 kPa) 右後  (200 kPa)	
	溝の深さ	左前  右前 	タイヤの溝が浅いと、スリップやパンクの可能性が高まります。  新品 浅い溝
		左後  右後 	
	亀裂および損傷	左前  右前 	タイヤに亀裂や損傷があると、パンクや破裂につながるおそれがあります。亀裂や損傷は急激に進行する可能性もあるため、早めに交換しましょう。
		左後  右後 	
	異常摩耗	左前  右前 	タイヤに異常摩耗があると、振動が発生して乗り心地が悪くなる場合があります。また、摩耗が進行すると、パンクや破裂につながるおそれがあります。
		左後  右後 	

分類	点検内容	結果	説明
その他	エアコンフィルターの汚れ		エアコンフィルターは、車室内に入る花粉やチリ・ホコリなどをブロックし、車内を快適に保ちます。
	ルームランプの球切れ		ルームランプが点灯しない場合は、不具合箇所の修理または電球の交換が必要です。
	発炎筒の有効期限		有効期限が切れた発炎筒は、劣化によって点火しないことがあるため、新品に交換しましょう。
	トランスミッションオイルの量		オイルの量が適切でないと、トランスミッションの故障につながるおそれがあります。
	トランスミッションオイルの汚れ		オイルが汚れると、変速時のショックが大きくなるおそれがあります。
	エアクリーナーの汚れ		エアクリーナーが汚れると、エンジンの調子や燃費が悪くなるおそれがあります。
	ワイヤレスキーの電池		ワイヤレスキーの電池が消耗すると、作動距離が短くなったり、作動しなくなる可能性があります。

【注意事項】

本点検結果は、自動車及びその部品に関する性能を保証するものではありません。
本点検結果により生じた損害等は、いかなる責任も負いません。



点検結果からお車の異常は見受けられませんでした。



交換や整備することをおすすめします。



点検未実施